


戦争を やめた人たち

…1914年のクリスマス休戦…

鈴木まもる 文・絵



銃弾ではなく歌を。大砲ではなくサッカーを。
兵士を変えた、一夜のできごと。



戦場でほんとうにあった奇跡のような実話

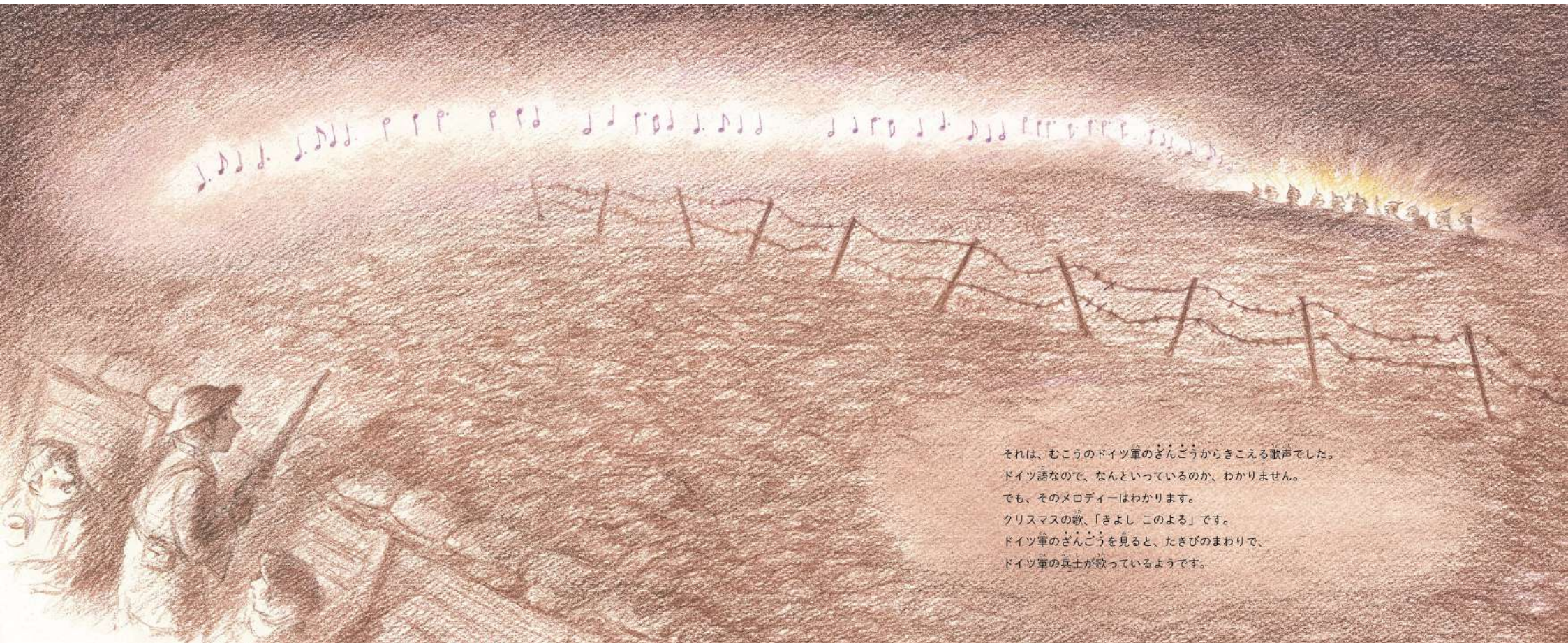
今から100年以上前の1914年、7月。

ヨーロッパをはじめ、多くの国を巻きこむ戦争がはじまりました。
第一次世界大戦です。

イギリス、フランス、ロシア、日本などの連合国軍と、
ドイツ、オーストリアなどの同盟国軍が戦ったのです。

戦争がはじまったばかりのころ、飛行機は船のようすを
さぐるためのものでした。戦いは、おもに大砲や銃をうったり、
刺でさしたりといった、兵士どうしがぶつかりあう、
まじしいものでした。





それは、むこうのドイツ軍のざんごうからきこえる歌声でした。
ドイツ語なので、なんといっているのが、わかりません。
でも、そのメロディーはわかります。
クリスマスの歌、「きよし このよる」です。
ドイツ軍のざんごうを見ると、たきびのまわりで、
ドイツ軍の兵士が歌っているようです。



「きょうは12月24日、クリスマス・イブなんだね」
「そうだったな。ドイツにもクリスマスがあるんだなあ」



「こっちも、歌おうか」
「いいのか？ そんなことして」



「かまうもんか」
若い兵士は、空にむかって歌いはじめました。
「きーよーし こーのよーる……」



「ほーしはー ひーかーりー……」
ひげの兵士も、まわりの兵士たちも、歌いはじめ、
声は、しだいに大きくなっていきました。



ドイツ軍のほうも、こちらが歌っているのがわかったようで、
パチパチと、はくしゅの音がきこえてきました。
つぎに「もろびと こぞりて」を、ドイツ軍が歌いはじめました。
若い兵士たちは、はくしゅをして、じぶんたちも歌いはじめました。
言葉はちがいますが、おなじメロディーなので、いっしょに歌えます。
声は大きくなり、おわると、はくしゅも大きくなっていきました。
こんどは「みつかい うたいて」を、若い兵士が歌いはじめ、
みなが歌いだすと、ドイツがわから、ドイツ語の「みつかい うたいて」が
きこえてきました。

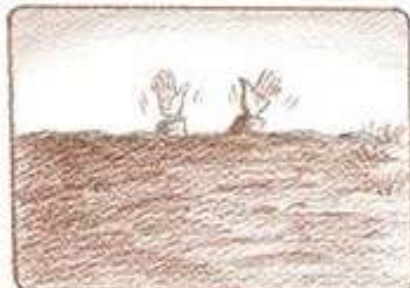
向方のさんこうから、くらい夜空に、
いろいろなクリスマスの歌がながれていきました……。



よく日。12月25日、クリスマスの日の朝。
ドイツ軍のざんごうを見はっていた兵士がさげびました。「敵だ！」



若い兵士は、とびおき、銃をかまえました。



でも、何かいつもとちがいます。
手をふっているようです。



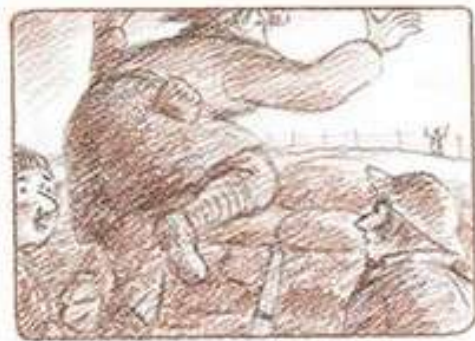
ドイツ軍の兵士は、ゆっくり顔を出しました。
そして銃をもたず、ざんごうから出てくるではありませんが……。



「なんだ、あいつ。こっちにくるぞ」
あいての兵士は、手をふって、こちらにも
出てくるようにさそっているようです。



「よし、ぼくがいくよ」若い兵士がいました。
「だいじょうぶか？ うたれるんじゃないか？」



若い兵士は銃をおくと、じぶんも両手をあげ、
ざんごうを出て、歩きはじめました。



きのう、「きよしこのよる」を歌っていたドイツのざんごうから、
ドイツ兵が手をあげ、ゆっくりこちらに歩いてきます。
若いイギリス兵も手をあげ、ゆっくり歩いていきます。

どちらのざんごうでも、ほかの兵士たちが銃をかまえたまま、
ふたりが近づいていくのを、息をとめて見まもっています。


サッカーがはじまりました。



A watercolor illustration of a landscape. The sky is filled with horizontal bands of color, transitioning from purple and pink at the top to yellow and orange in the middle, and then to light blue and white at the bottom. In the foreground, a fence made of wooden posts and wire runs across the scene. On either side of the fence, there are small hills. On the left hill, a group of people are standing with their arms raised in celebration. On the right hill, another group of people is standing, also with their arms raised. The overall mood is peaceful and hopeful.

それぞれのさんごうへ、かえっていました……

1914年の12月25日、クリスマスの日、
イギリス軍とドイツ軍が戦場でサッカーをしたという
ほんとうにあった話で、おなじようなことが、
戦場のあちこちでおこったそうです。



でも、さんねんながら、これで戦争はおわりませんでした。
クリスマスがおわると、また戦争ははじまり、鉄条網はほりなおされ、
このあと4年間もつづきました。

でも、ここでクリスマスを味わった兵士たちは、
もう、鉄であいてをうつことはせず、命奪されると、
鉄をすこし上にもむけ、空にむかってうったそうです。
大きな攻撃作戦があるときは、あいてに知らせ、
気をつけるよう、つたえたそうです。

いっしょにわらい、あそび、食事をし、友だちになったから、
あいてにもふるさどがあり、家族や子どもがいることがわかったからです。
国を大きくするために戦争するより、たいせつなものがあることがわかったから、
この人たちは、戦争をやめたのです。

おわり